

※本資料は記載例です。

記載内容をそのまま転記・複製せず、各症例の実際の診療・検査内容に基づいて作成してください。

【様式4の2】

受験番号兼申請番号	医・歯・技・心・看
-----------	-----------

(この上の欄には記入しないで下さい)

西暦 xxxx 年 xx 月 xx 日

症例番号	
------	--

医療機関：●●

ID 番号：●● 30 歳 男性 公務員

主訴及び主症状：いびき、就寝中の呼吸停止の指摘

診断：閉塞性睡眠時無呼吸（軽症）

既往歴：特記事項なし

家族歴：祖父が糖尿病

現病歴：中学生のころからいびきを指摘されていた。23 歳で妻と同居を開始してから、睡眠中の呼吸停止も指摘されていた。日中の眠気を自覚し、集中力の低下を妻から指摘され前医を受診した。簡易検査が実施され Respiratory Event Index (REI) が 27.8 回/時間であったことから、終夜睡眠ポリグラフ検査の実施を勧められ当院を初診した。

心身の一般所見：身長 170.3 cm、体重 71.9 kg、BMI 24.8 kg/m²、血圧 118/71 mmHg であった。エプワース眠気尺度は 20/24 点であり、日中の過度の眠気を認めた。睡眠習慣は整っており、8 時間/日の睡眠時間を平日、週末ともにとっていた。喫煙習慣はなく、飲酒は機会飲酒であった。

臨床検査成績：心電図は心拍数 58 bpm、洞調律。血液検査成績は、RBC 498 万/μl、WBC 8920 /μl、Hgb 14.1 g/dl、Plt 22.6 万/μl、MCV 83.2 fl、AST 24 IU/l、ALT 42 IU/l、γ-GTP 47 IU/l、T-chol 185 mg/dl、LDL 115 mg/dl、TG 128 mg/dl、BS 88 mg/dL、UN 14.5 mg/dl、Cre 0.90 mg/dl、TSH 1.3418 mIU/ml、freeT3 3.02 pg/ml、freeT4 1.10 ng/ml であった。頭部 MRI 検査は本人の希望なく、実施できなかった。

入院時の PSG (表 1・図 1・図 2)：PSG は AASM 判定マニュアル ver. 2.5 で判定した。睡眠状態は TIB 493.0 分 (8 時間 13.0 分)、SPT 490.0 分 (8 時間 10.0 分)、TST 471.0 分 (7 時間 51.0 分)、睡眠効率 (TST/TIB) 95.5 %、WASO 3.9 %、入眠潜時 2.5 分、REM 睡眠潜時 152.0 分、Stage N1 10.9 %、Stage N2 45.8 %、Stage N3 16.6 %、Stage R 26.8 %、REM cycle 3 回であった。睡眠中の呼吸状態は Apnea Hypopnea Index (AHI) 10.3 回/時間で無呼吸のタイプは中枢性が 1 回、閉塞性が 13 回、混合性 1 回、低呼吸が 66 回であった。末梢血酸素飽和度 (SpO₂) は覚醒時 97%、睡眠中平均 97%、最低 89%であった。Arousal index は 30.1 回/時間であり、そのうち Respiratory arousal index は 9.2 回/時間であった。Periodic Limb Movement (PLM) index は 1.8 回/時間であった。REM sleep without atonia (RWA) は 5 epoch, 68.0 秒観察されたが、REM 中に明らかな異常行動は観察されなかった。

※ 診断根拠を示す 30 秒～2 分程度の図を必ず添付してください。

※本資料は記載例です。

記載内容をそのまま転記・複製せず、各症例の実際の診療・検査内容に基づいて作成してください。

【様式4の3】

症例番号

鑑別診断：

International Classification of Sleep Disorders 3rd (ICSD-3) を用いて鑑別診断を行った。習慣性いびきと日中の眠気があり、PSG 検査で AHI 10.3 回/時間を認めたことから、閉塞性睡眠時無呼吸（軽症）と診断した。PLM index は 1.8 回/時間、RWA は観察されたが就寝中の異常行動はなく、周期性四肢運動障害やレム睡眠行動障害などの睡眠妨害事象は否定された。一方、過眠症状の併存があり、睡眠不足も顕著でないことから、ナルコレプシーや特発性過眠症の併存の可能性は否定できない。

治療方法：

PSG の検査結果を説明し、閉塞性睡眠時無呼吸の病態および治療法について説明した。閉塞性睡眠時無呼吸に対して、AHI が 20 回/時間未満であるため、口腔内装置(Oral Appliance: OA)による治療を提案し、かかりつけ歯科医院に OA を作製依頼し、治療を開始した。

治療効果を含めた経過：

現在のかかりつけ歯科医院にて OA を作製中である。今後は、OA 装着し安定した睡眠が得られた後に、OA 効果判定のため、PSG を再実施する方針である。日中の眠気が残存する場合は、ナルコレプシーや特発性過眠症の併存を視野に反復睡眠潜時検査の実施を検討する方針としている。

本症例とのかかわり：

申請者は担当医として、初診時、PSG 検査時、再診時に診療および検査に立ち会っている。

上記の症例に関する診療あるいは検査および報告書作成を指導したことを確認します。

西暦 xxxx 年 xx 月 xx 日

日本睡眠学会総合専門医、日本睡眠学会専門医、日本睡眠学会指導医、
日本睡眠学会歯科専門医、日本睡眠学会専門検査技師、日本睡眠学会専門心理師、
日本睡眠学会専門睡眠医療看護師、所属診療科の長（該当する事項を○印で囲む）

医療機関と診療科名および職名 ●●

学会認定証の番号 ●●

氏名

印

審査員のコメント

審査結果：合格、保留、不合格

担当審査員の氏名

※ 診断根拠を示す 30 秒～2 分程度の図を必ず添付してください。

※本資料は記載例です。

記載内容をそのまま転記・複製せず、各症例の実際の診療・検査内容に基づいて作成してください。

【様式4の4】

症例番号

(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

表 1 PSG 結果

	診断 PSG
記録開始時間 / 記録終了時間	21:16:05 / 6:21:40
消灯 / 点灯	22:05:30 / 6:18:30
睡眠効率 TST/TIB×100%	95.5 %
全就床時間 (TIB)	493.0 分
睡眠期間 (SPT)	490.0 分
総睡眠時間 (TST)	471.0 分
中途覚醒時間 (WASO) (%SPT)	19.0 分 (3.9 %)
睡眠ステージ REM (%TST)	126.0 分 (26.8 %)
睡眠ステージ N1 (%TST)	51.5 分 (10.9 %)
睡眠ステージ N2 (%TST)	215.5 分 (45.8 %)
睡眠ステージ N3 (%TST)	78.0 分 (16.6 %)
睡眠潜時 (Sleep latency)	2.5 分
REM 潜時 (REM latency)	152.0 分
無呼吸指数 (AI)	1.9 回/hr
↳閉塞性 OAI / 混合性 MAI / 中枢性 CAI	1.7 / 0.1 / 0.1 回/hr
低呼吸指数 (HI)	8.4 回/hr
無呼吸低呼吸指数 (AHI)	10.3 回/hr
覚醒反応指数 (arousal index)	30.1 回/hr
SpO ₂ の平均値	97 %
SpO ₂ 低下指数 (3% oxygen desaturation index)	3.2 回/hr
最低 SpO ₂	89 %
周期性四肢運動指数	1.80 回/hr
RWA	5 epoch, 68.0 秒
RWA 割合 (REM 中 RWA)	1.98 %
心電図異常	特記すべきことなし

※ TIB : Time in bed ※ SPT : Sleep period time ※ TST : Total sleep time

※ WASO : Wake after sleep onset ※ AI : Apnea Index ※ OAI : Obstructive Apnea Index

※ MAI : Mixed Apnea Index ※ CAI : Central Apnea Index ※ HI : Hypopnea Index

※ AHI : Apnea Hypopnea Index ※ RWA : REM sleep without atonia

※ 診断根拠を示す 30 秒～2 分程度の図を必ず添付してください。

※本資料は記載例です。

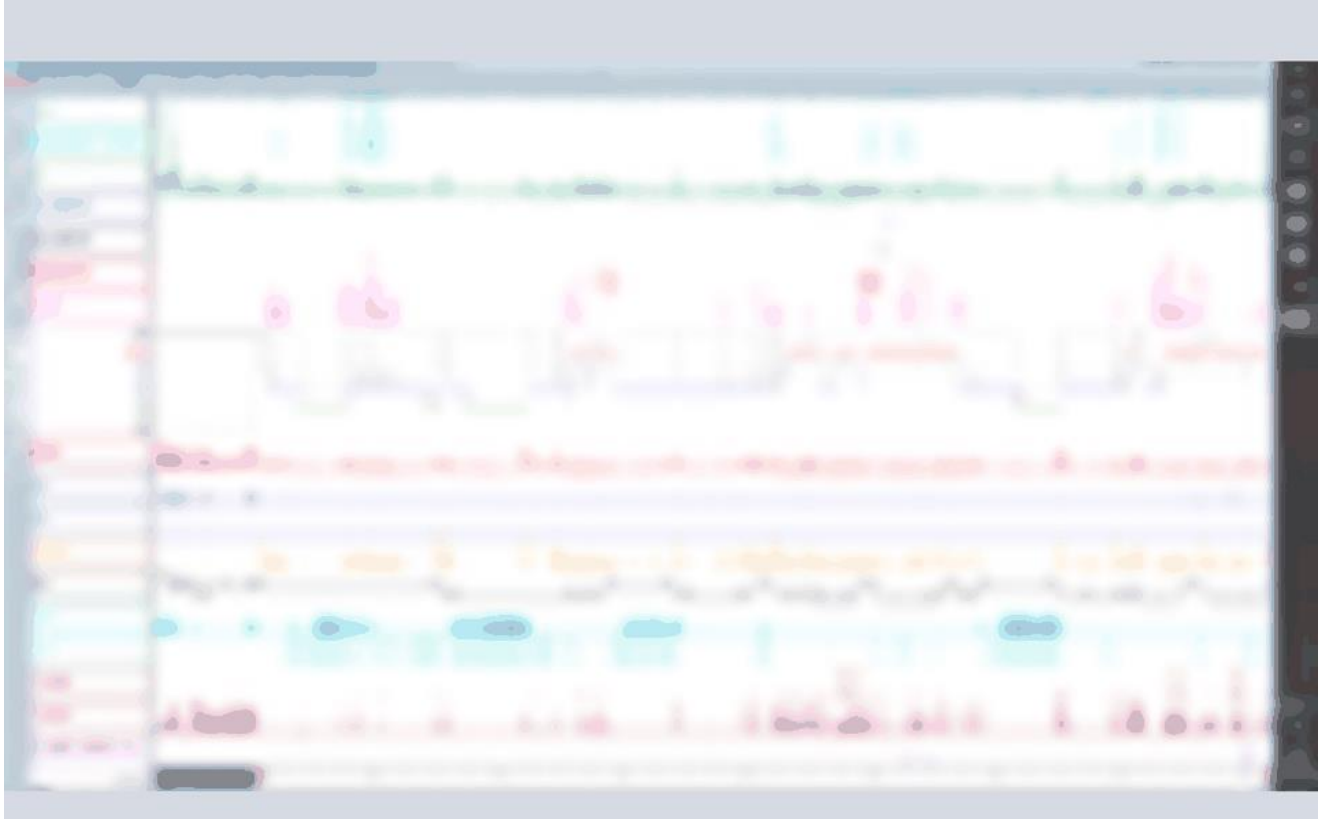
記載内容をそのまま転記・複製せず、各症例の実際の診療・検査内容に基づいて作成してください。

【様式4の4】

症例番号

(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

(図1) 睡眠ポリグラフ検査 (全検査時間)



覚醒時以外の就寝時間帯に閉塞性の無呼吸、低呼吸が出現し、呼吸イベントに伴う SpO₂ 低下も認めている。AHI は 10.3 回/時間であり、軽症の閉塞性睡眠時無呼吸と診断した。

※ 診断根拠を示す 30 秒～2 分程度の図を必ず添付してください。

※本資料は記載例です。

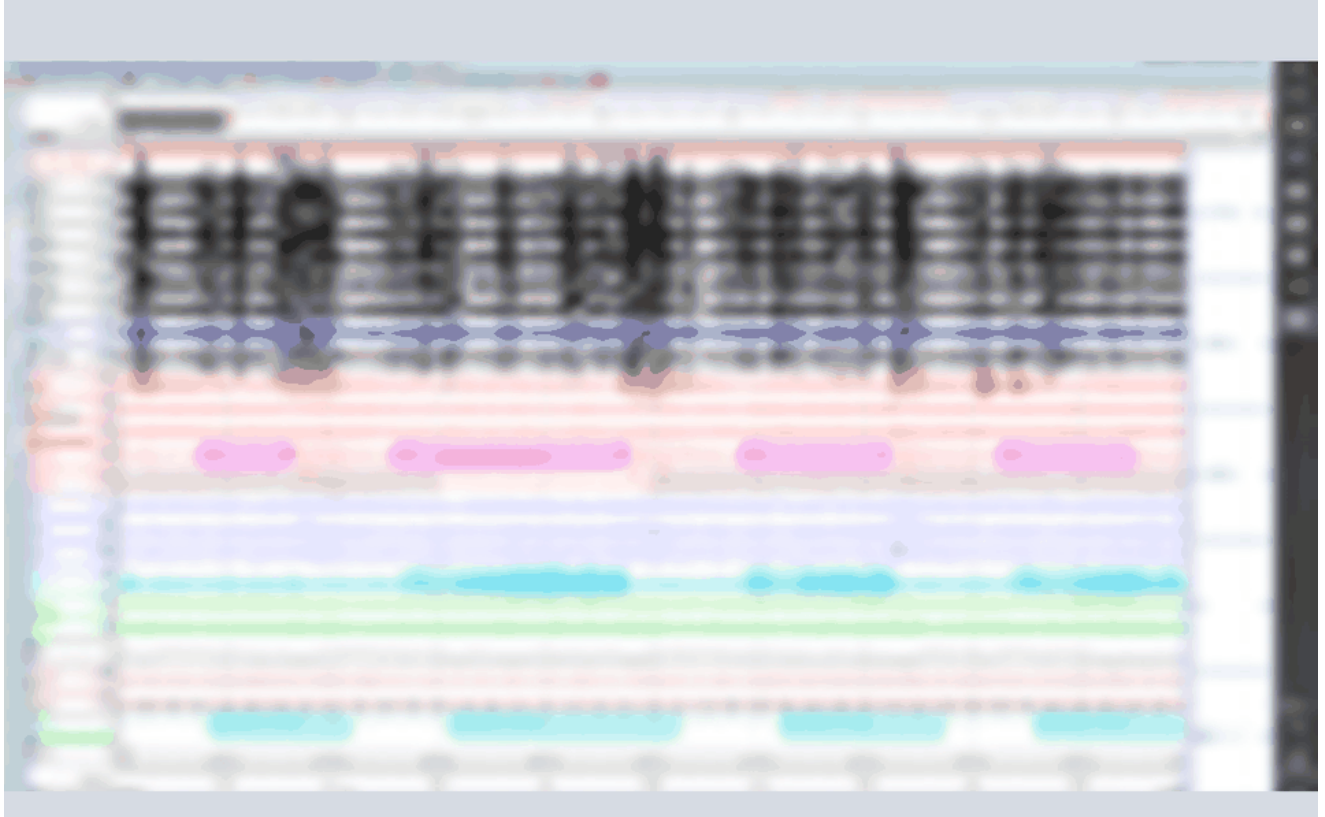
記載内容をそのまま転記・複製せず、各症例の実際の診療・検査内容に基づいて作成してください。

【様式 4 の 4】

症例番号

(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

(図 2) 睡眠ポリグラフ検査 (低呼吸イベント)



鼻圧センサーの信号振幅の 30%以上の低下が 10 秒以上持続する低呼吸を認め、3%以上の SpO₂ 低下を伴っている。

F3M2, F4M1, C3M2, C4M1, O1M2, O2M1 : 脳波、LEOGM2, REOGM2 : 左右眼球運動、CHIN : 頤筋筋電図、ECG1, ECG2, RR : 心電図、arm-R, arm-L : 左右浅指屈筋筋電図、R-LEG, L-LEG : 左右前脛骨筋筋電図、PFlow : 鼻圧波形、TFlow : 温度気流波形、THO : 胸部呼吸努力、ABD : 腹部呼吸努力、SUM : RIP センサー (ベルト) からの信号の和、Micro : いびき、SpO₂ : 動脈血酸素飽和度、Body : 体位

※ 診断根拠を示す 30 秒～2 分程度の図を必ず添付してください。